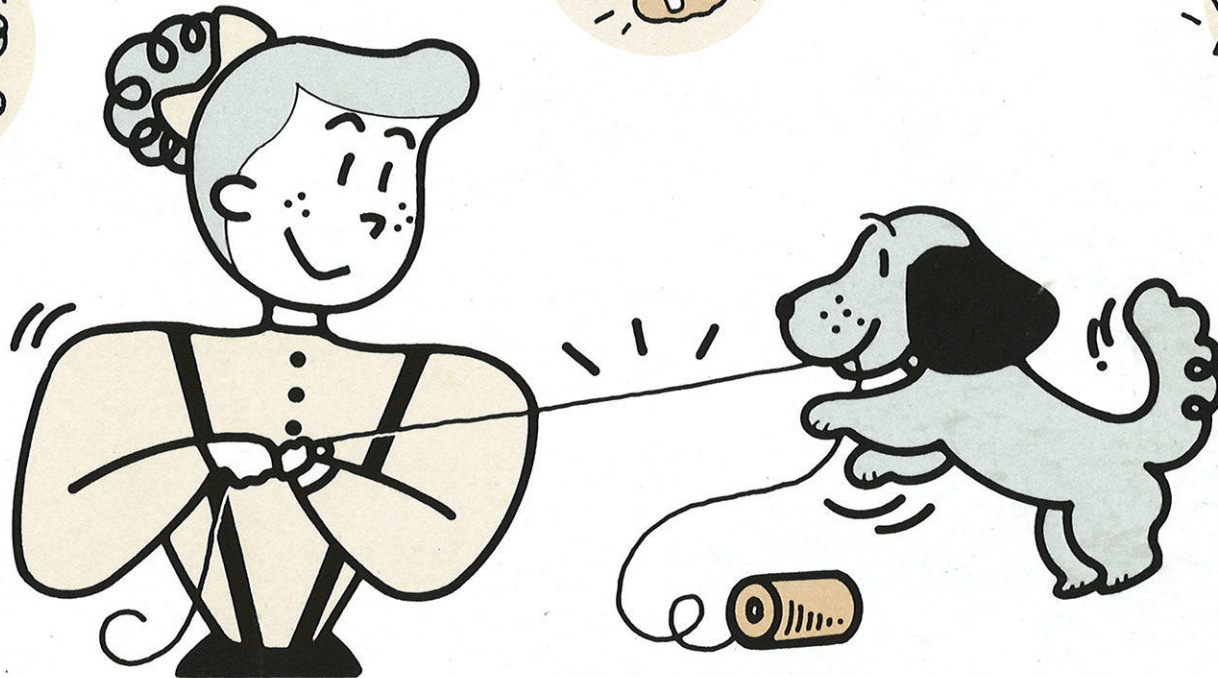


電子ミシン 取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。
この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。



もくじ



■糸と針の選択早見表	1
■ぬい方早見表	1
■付属品	1
■各部の名称	2

A

ぬう前の知識

■電源コード ■プーリー ■送り歯カバー ■模様選択ダイヤル	3
■ランプスイッチ ■ボタン穴かがり幅切換ボタン	3
■押えあげレバー ■スピードコントロールレバー ■ぬい目の長さ調節ダイヤル	4
■返しぬいボタン ■スタート/ストップスイッチ	4
■付属品ケース ■フリーアームにするには ■上糸調子ダイヤル	4

B

糸の通し方

■ボビンの下糸巻き	5
■ボビンのセット	6
■上糸のかけ方	7
■糸通し装置の使い方	7
■下糸の引き出し方	8

C

ぬってみましょう

■基本操作	9
■糸調子	9
■押えの付け替え方	10
■片押えの使い方	10
■まつりぬい押えの使い方 ■裁ち目かがり押えの使い方	11
■ジグザグ押えを使った飾りぬい	11
■ボタン穴かがり押えの使い方	12

D

ミシンを大切に

■針の交換	14
■ランプの交換	14
■お手入れ	15
■トラブルチェック	16



糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地		薄地		厚地		のびる布地		ほつれやすい布地		ステッチ糸の場合				
	ブロード	タフタ	ギャバジン	ローン	ジョーゼット	ポーラ	テーム	コートコイル	ツイード	アムソール	ジャージ				
糸種類	カطن糸	合繊糸	絹糸	カطن糸	合繊糸	絹糸	カطن糸	合繊糸	絹糸	二用糸	カطن糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	60~80	50~80	40~50	50	50		50~80	50~80	50~80	30	30
針太さ	11~14		9~11		14~16		ゴールド針 11~14		9~14		16~18				

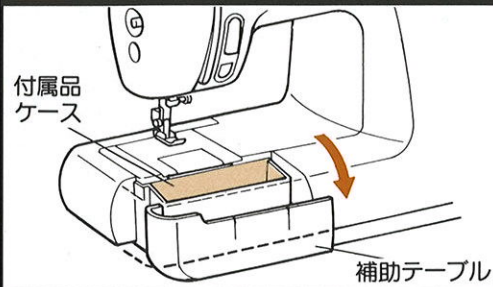
ぬい方早見表

模様の種類	直線		ジグザグ			裁ち目かがり	ジグザグ三重ぬい	三重ぬい	シエルタック	スカラップ	フェザー	まつりぬい		裁ち目かがり	直線	ボタン穴かがり
模様番号	2	3	4	5	6	9	14	15	8	10	12	7	11	13	2	1
選択模様	—	—	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	—	〰
押え記号							J					L		G	I	A
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	裁ち目かがり	裁ち目かがり	その他	裁ち目かがり	その他	その他	シエルタック	スカラップ	飾りぬい	まつりぬい	まつりぬい	裁ち目かがり	その他	ボタン穴かがり
ぬい目の長さ調節ダイヤル	★		★			★						★	★		★	★

★…調節することができます。

付属品

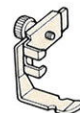
付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。



補助テーブルを手前に開くと付属品が収納されています。



ジグザグ押え



片押え



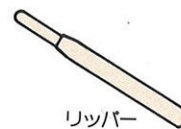
裁ち目かがり押え



まつりぬい押え



ボタン穴かがり押え



リッパー



送り歯カバー



ミシンブラシ



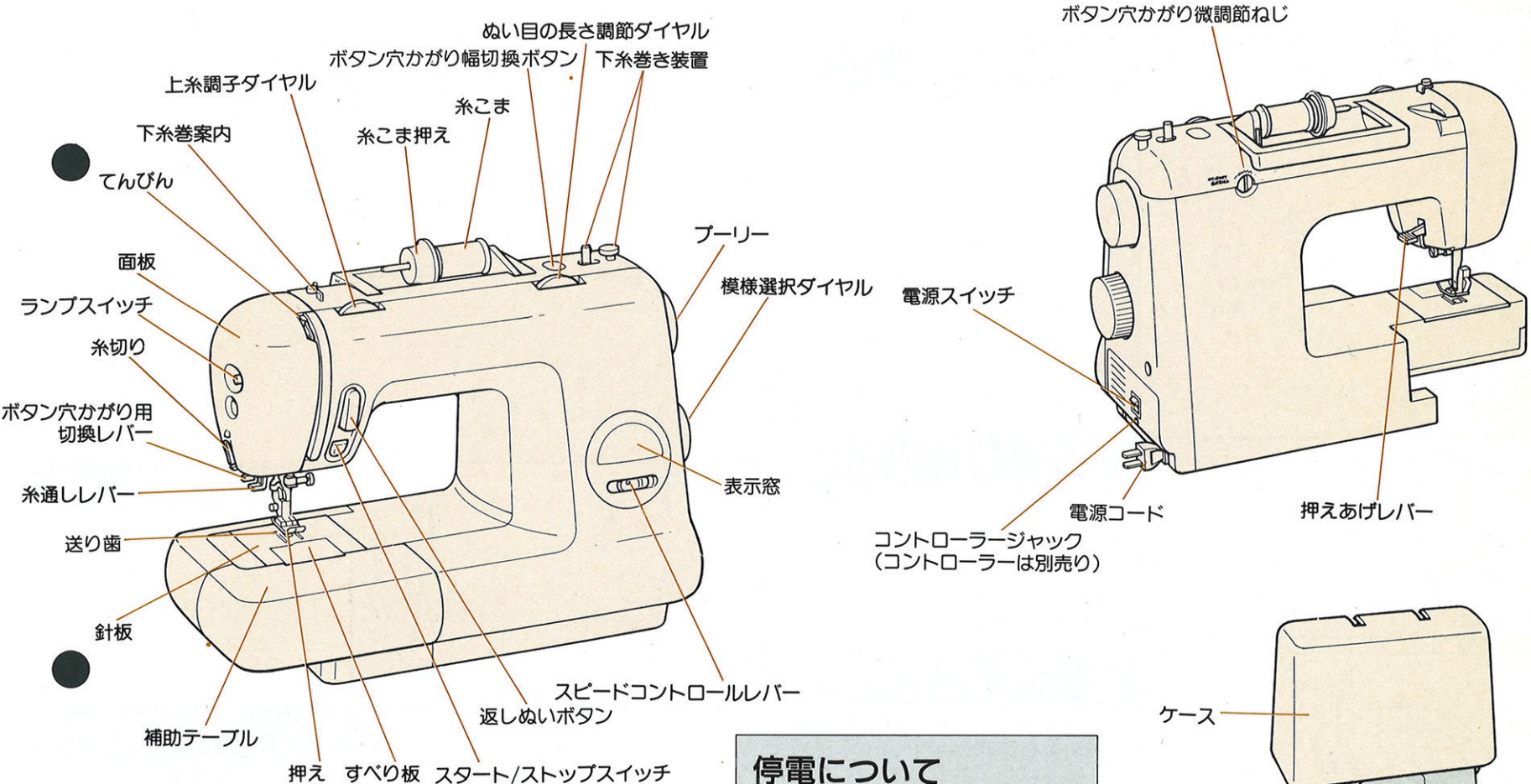
ミシン針



ボビン

ボビンは、必ず専用ボビンをご使用ください。

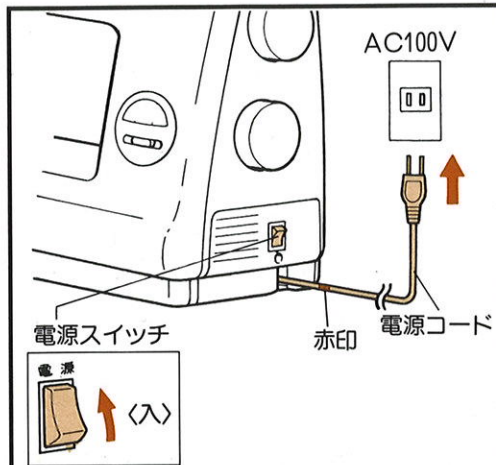
各部の名称



停電について

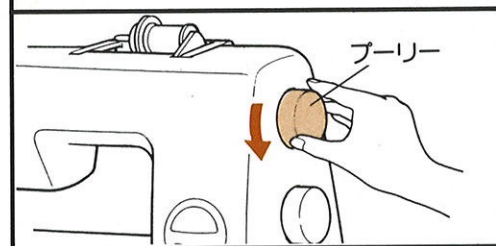
- 運転中に停電が発生した場合。
- ・ 電源プラグを抜いてください。
- ・ 再運転される場合は、運転の順序にもとづき正しく行ってください。

ぬう前の知識



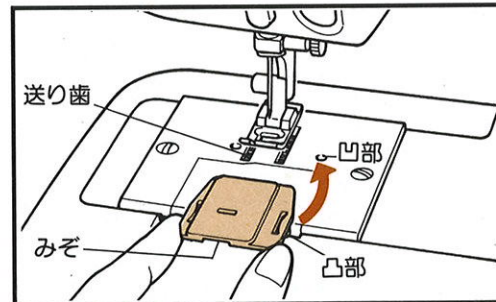
電源コード

- ※電源コードの赤印以上は引き出さないでください。
- ※電源コードをしまうときは、少し(1cm~5cm)引っ張ってから離してください。
- ※ミシンを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



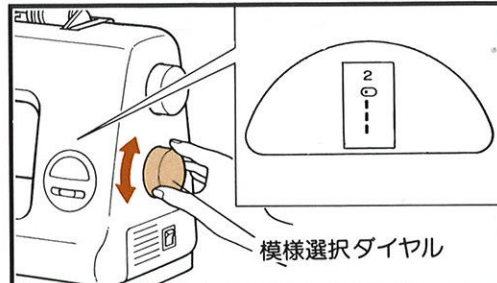
プーリー

- プーリーを回すと、針が上下します。
- プーリーは、必ず手前側に回してください。
 - 模様選択する場合は、必ず針を上になしてください。



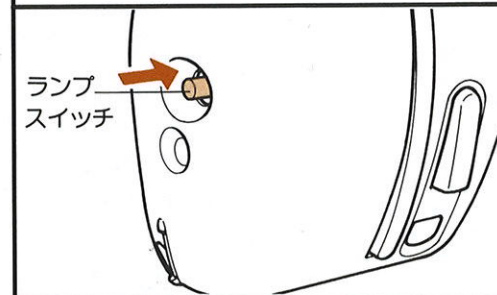
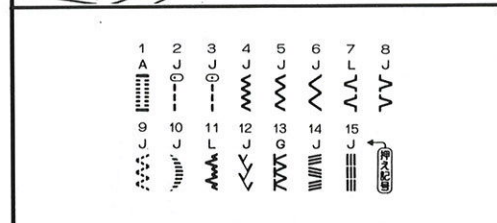
送り歯カバー

- 凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。
- ※ボタン付けなどのときに使ってください。



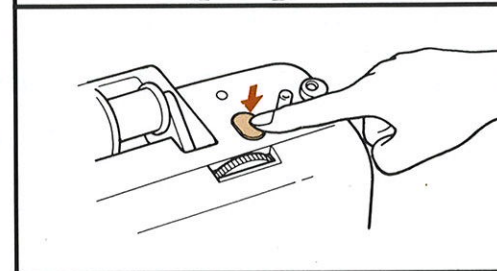
模様選択ダイヤル

- 模様選択ダイヤルを回すと、選択した模様が表示窓に表示されます。
- 模様選択ダイヤルは、必ず上がっていることを確認してから回してください。針が曲がったり、折れたりする場合があります。



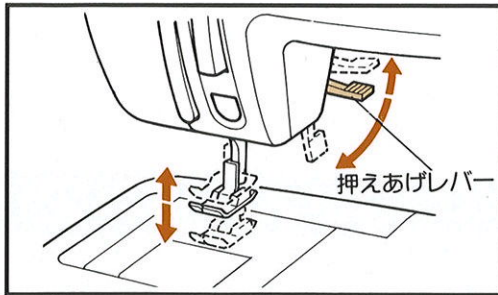
ランプスイッチ

- 押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



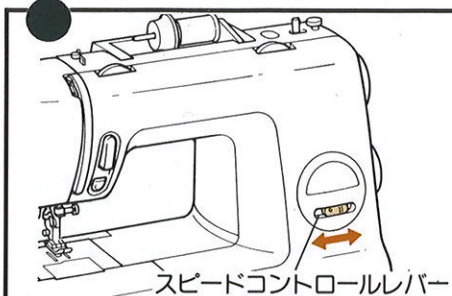
ボタン穴かがり幅切換ボタン

- ボタン穴かがり幅切換ボタンを下まで押し込むと、かがり幅が大幅(広い幅)から小幅(狭い幅)に切り換わります。
- 大幅(広い幅)にもどしたい場合は、模様選択ダイヤルで「1」以外を指定します。



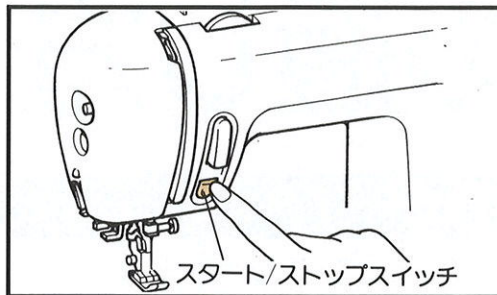
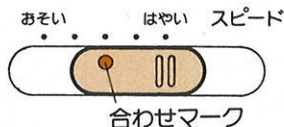
押えあげレバー

レバーを下げると押えが下がり、布地を押さえます。
厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。



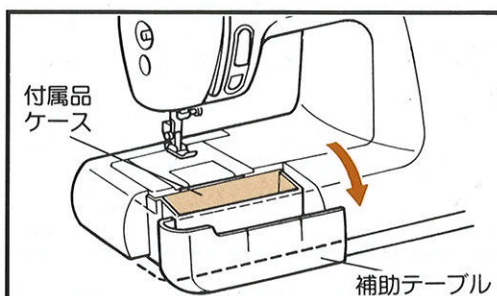
スピードコントロールレバー

※初心者の方はミシンになれるまで“おそい”でお使いください。



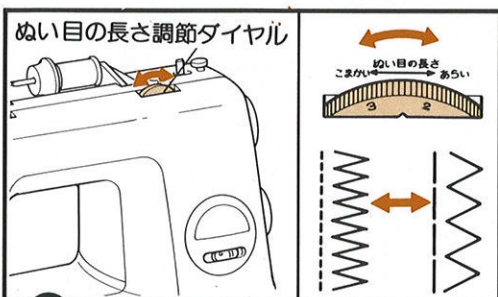
スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。
●スイッチを押している間は、低速でぬいます。
●ミシンを停止させると、針は上で止まります。



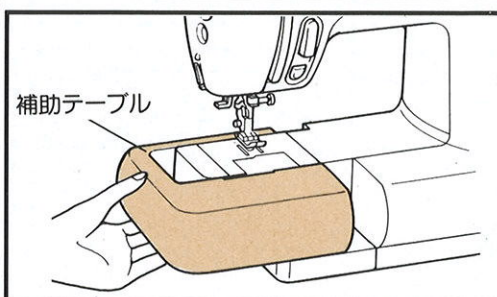
付属品ケース

補助テーブルを手前に開くと付属品が収納されています。



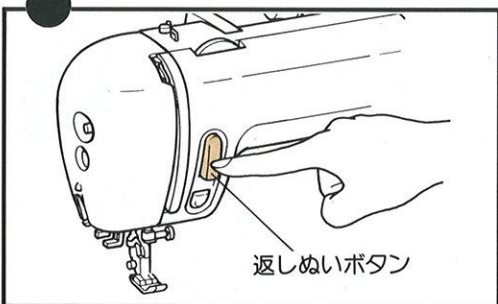
ぬい目の長さ調節ダイヤル

1針1針のぬい目の長さを変化させることができます。
●選んだ模様によっては調節できません。(1ページぬい方早見表参照)



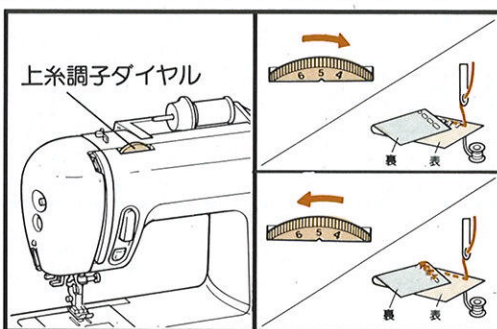
フリーアームにするには

補助テーブルを左へ引きます。



返しぬいボタン

ボタンを押している間は返しぬいを低速で行います。



上糸調子ダイヤル

■上糸を強くしたい場合
上糸調子ダイヤルを右に回します。上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。

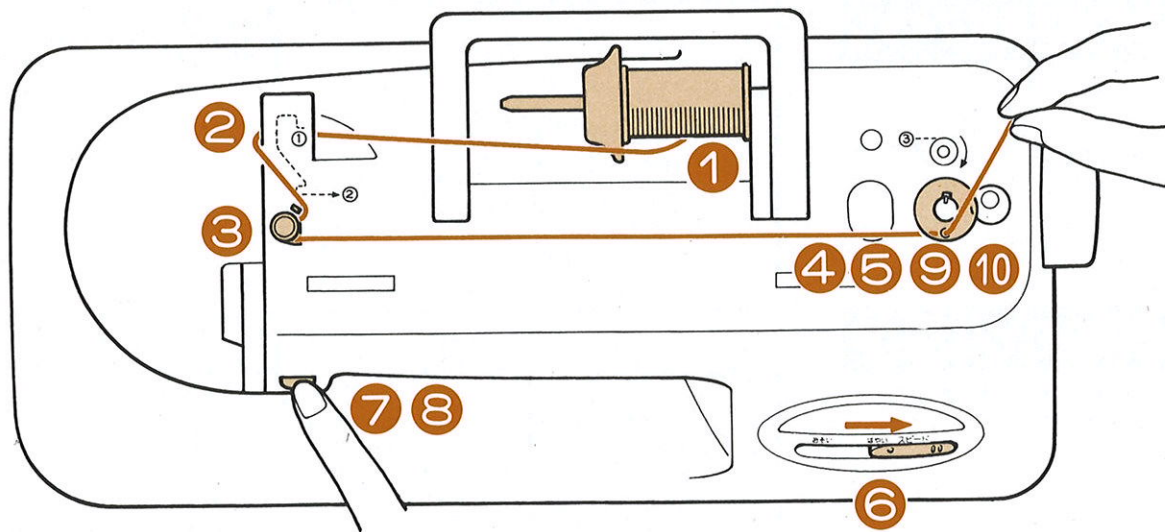
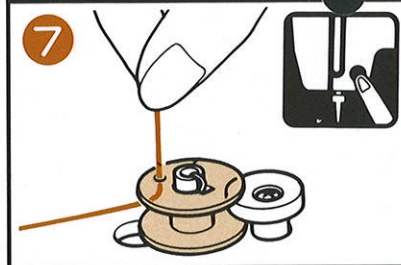
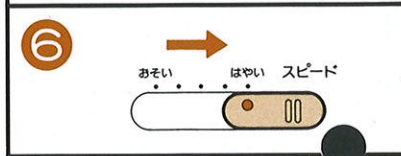
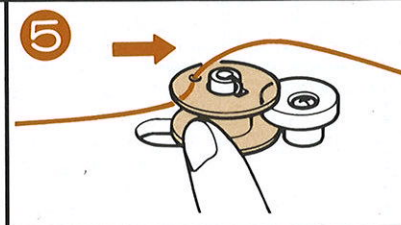
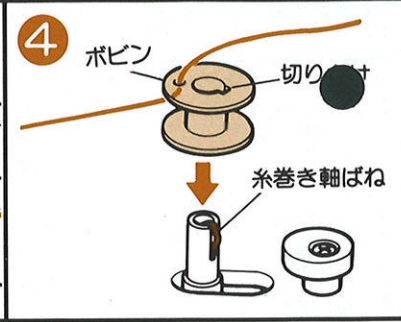
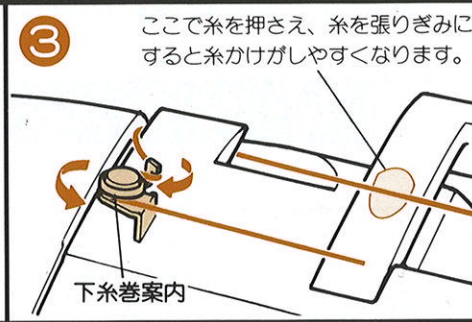
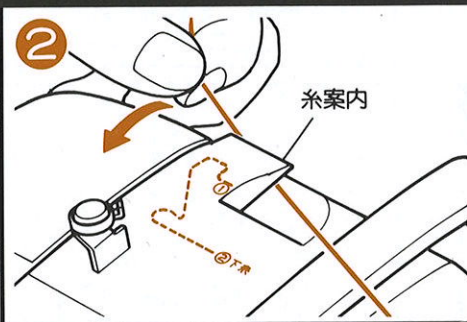
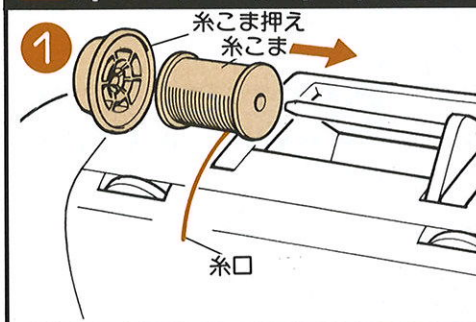
■上糸を弱くしたい場合
上糸調子ダイヤルを左に回します。上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。

B

糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き

ボビンは、専用ボビンをご使用ください。





プーリーを手前に回して、針を上げます。



押えを上げます。



プーリーを手前に回します。



スタート/ストップスイッチを押します。



押えを下げます。



電源スイッチを切ります。

4 ボビンの穴に糸を通し、切りみぞと糸巻き軸ばねを合わせてしっかりはめます。

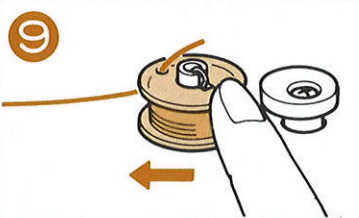


巻き終わるとボビンの回転は止まります。

巻き終わったらスタート/ストップスイッチを押して止めます。

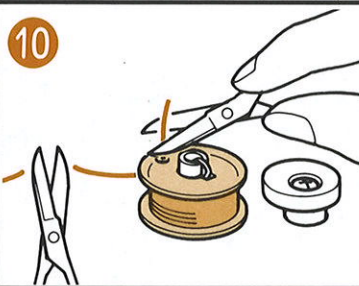
ボビンを左へもどします。

5 糸端を持ち、ボビンを右へスライドさせます。



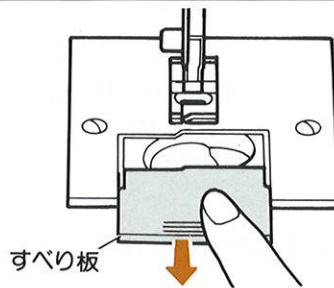
糸端を切り、ボビンはずします。

6 スピードコントロールレバーをくはやいに合わせます。

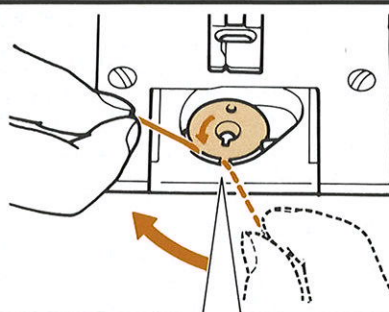


7 糸端を持ってスタート/ストップスイッチを押します。

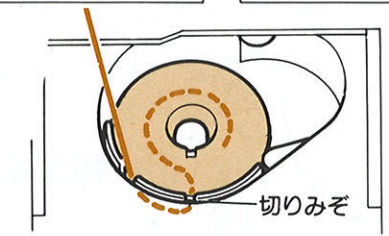
ボビンのセット



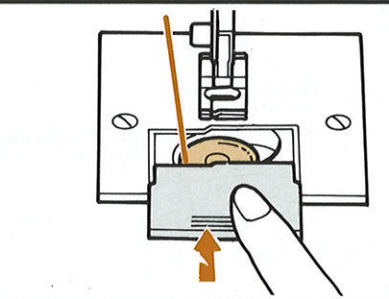
1 すべり板を開きます。



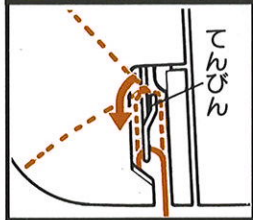
2 糸が左巻きになるようにボビンをセットし、糸を切りみぞへ通します。



3 すべり板を閉めます。

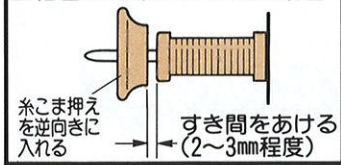


■上糸のかけ方



② プーリーを回しててんびんを上げる

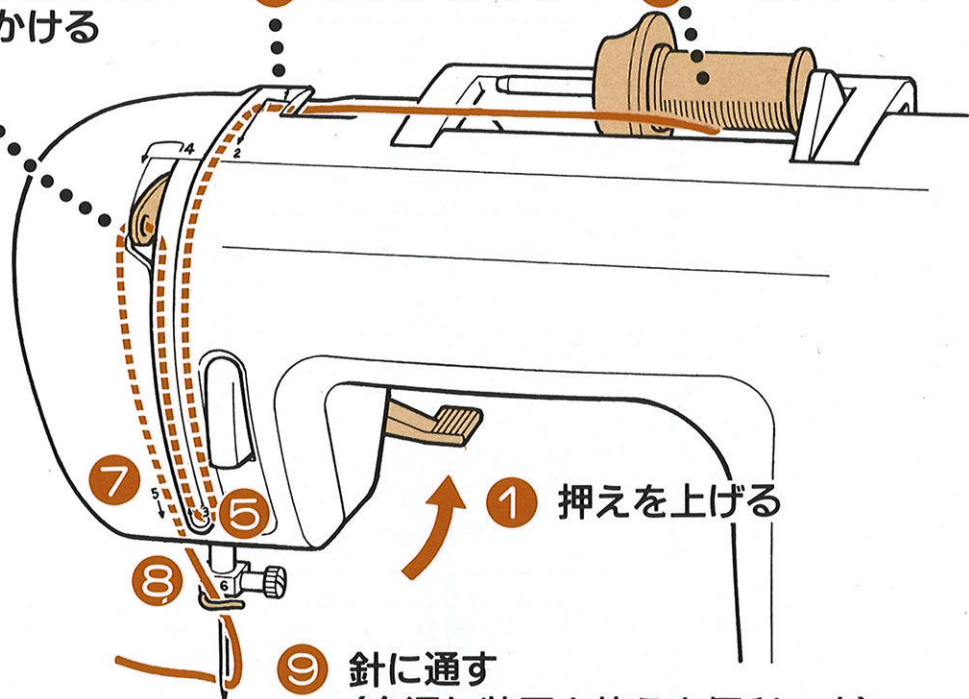
■細巻きの糸こまを使う場合



⑥ てんびんにかける

④ 糸案内にかける

③ 糸こまをセット



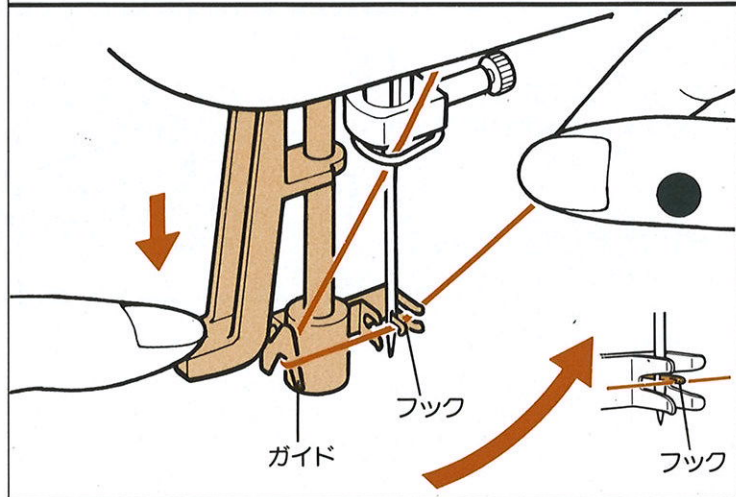
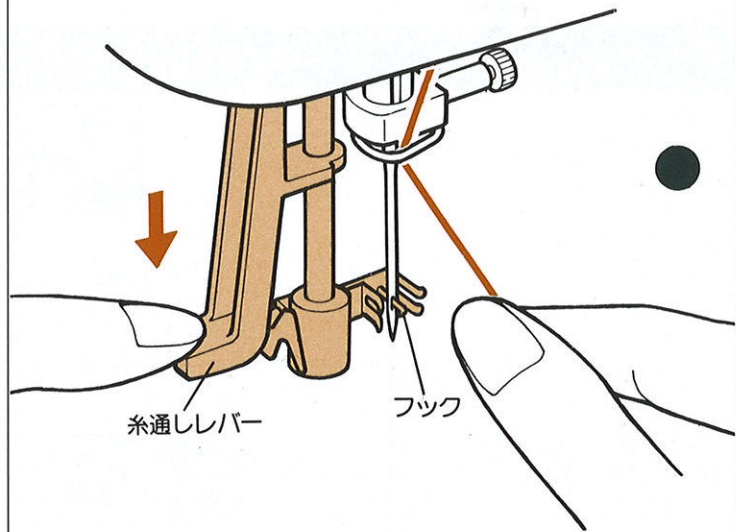
① 押えを上げる

⑨ 針に通す
(糸通し装置を使うと便利です)

注

①をしないと、糸がらみの原因になります。

糸通し装置の使い方

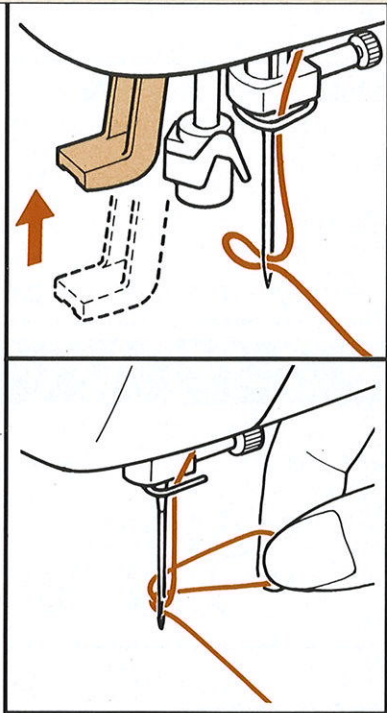


1 プーリーを手前に回して針を上げ、押えあげレバーを下げます。

2 糸通しレバーを下まで下げ、針穴にフックが通った状態にします。

3 糸をガイドにかけてから、糸をフックにかけます。

●糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。



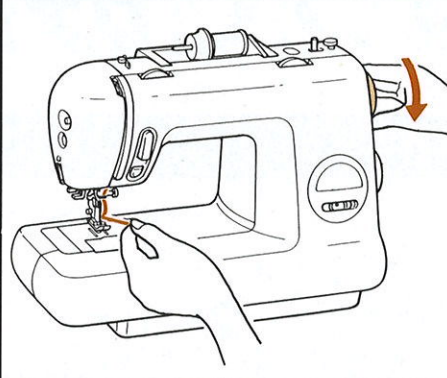
針	糸		
9 番	30番	50番	60番
11 番	30番		
14 番	30番		
16 番	20番		

4 糸通しレバーと糸を同時にはなして針穴に糸を通します。

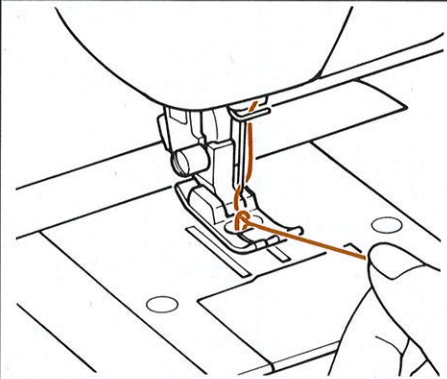
5 ループをうしろへ引き出します。

●糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは左記のとおりです。なお、ナイロン透明糸は左記に関係なく、ミシン針14~16番の範囲内でご使用ください。

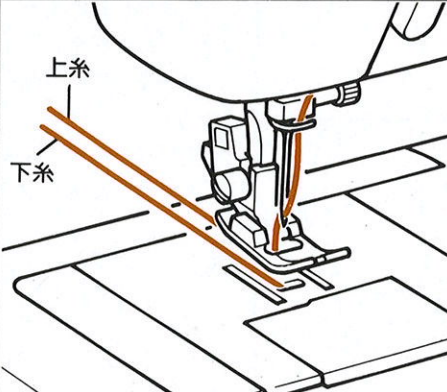
■ 下糸の引き出し方



1 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げます。



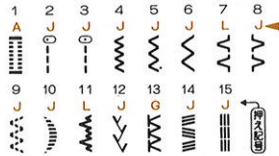
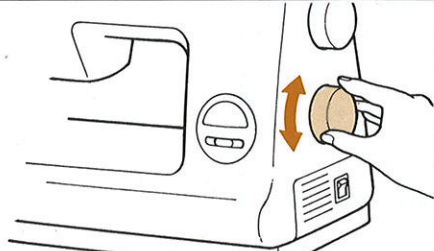
2 上糸を引き上げて下糸を引っ張り出します。



3 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

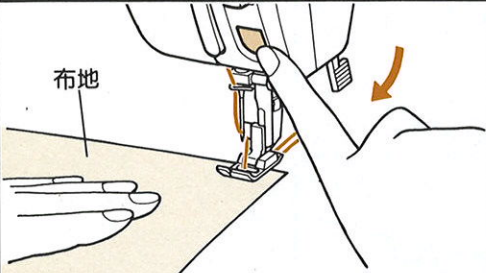
ぬってみましょう

基本操作



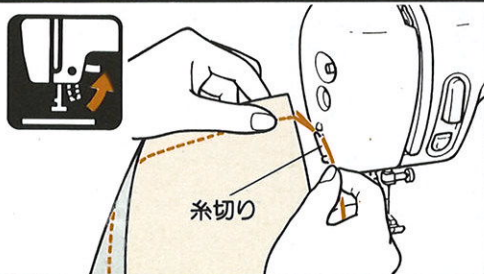
- 1 模様選択ダイヤルで模様を指定します。
- 2 指定した模様に合わせて、押えを付け替えます。
(押えの付け替え方 参照)

押え記号



布地

- 3 布地を入れ、押えを下げます。
- 4 スタートします。
 - スタート/ストップスイッチを押し続けると、その間低速でぬいます。
 - 手はかるく布地に添えます。



糸切り

- 5 再びスタート/ストップスイッチを押してストップします。
- 6 押えを上げ、糸を切ります。

■ぬい目の長さ調節

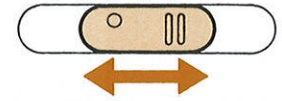
選んだ模様によっては、ぬい目の長さは調節できません。



■ジグザグの振り幅は自動的に設定されますので調節することはできません。

■スピード調節

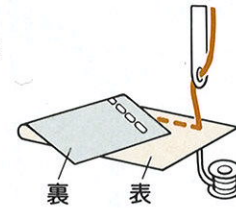
ぬっている途中でも調節できます。
おそい 早い スピード



■糸調子

■正しい糸調子

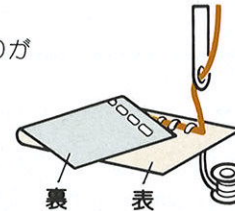
上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。



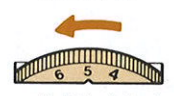
糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく、布地にしわがよったり糸が切れたりします。

■上糸が強い場合

上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。



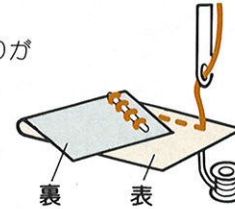
上糸調子ダイヤル
弱くする



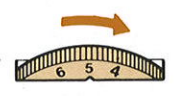
※数字を小さくします。

■上糸が弱い場合

上糸と下糸が重なりが下(裏)にできます。

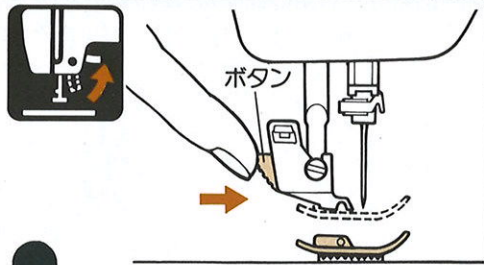


上糸調子ダイヤル
強くする



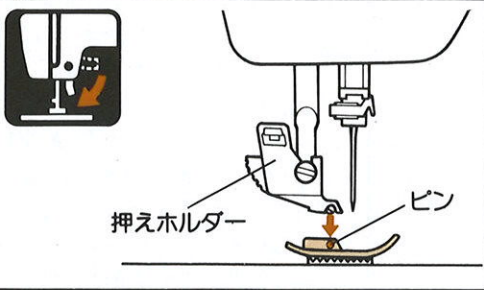
※数字を大きくします。

■ 押えの付け替え方



■ 取りはずし方

押えを上げ、押えホルダーのボタンを押します。

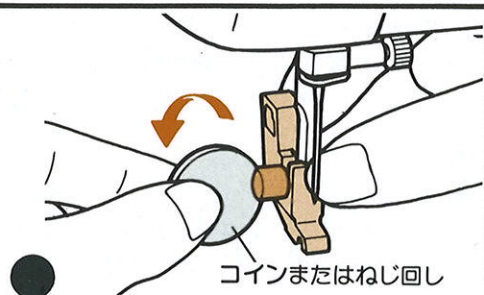


■ 取り付け方

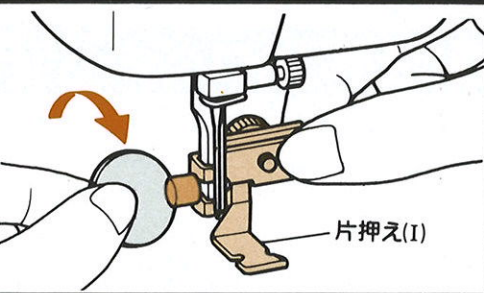
押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げます。

■ 片押えの付け替え方

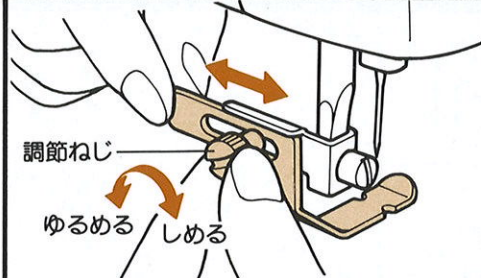
押えを上げ、ねじをゆるめて押えホルダーをはずします。



片押え(I)を付け、ねじを締めます。

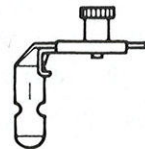


■ 片押えの使い方



● <I> 押えに付け替え、模様番号<2>を指定します。

2
J
0

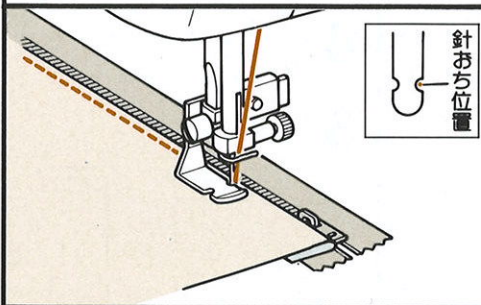


1 調節ネジをゆるめて、片押えの位置を調節します。

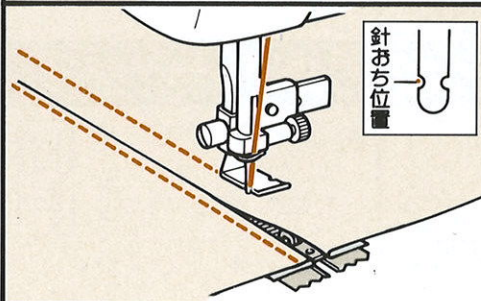
2 プーリーを回して、針おち位置を確かめます。



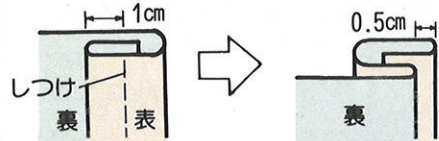
3 打ち合わせの下になる方を先にぬいます。



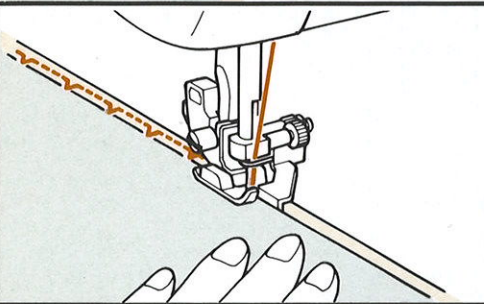
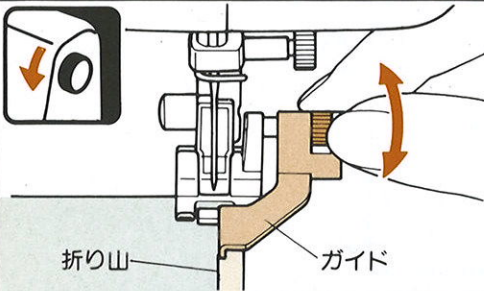
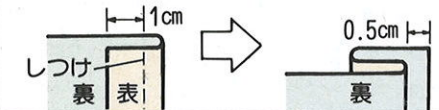
4 押えの位置を変え、打ち合わせの上になる方をぬいます。



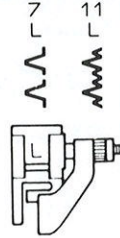
まつりぬい押えの使い方



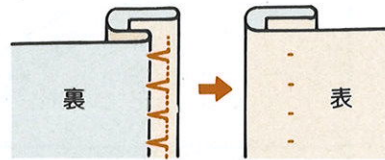
■厚い布地の場合



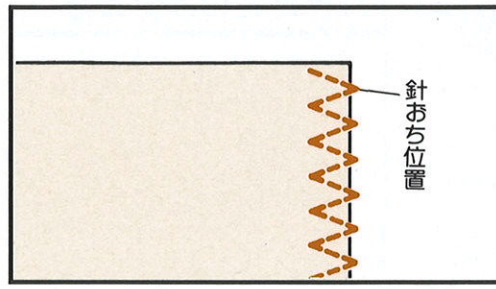
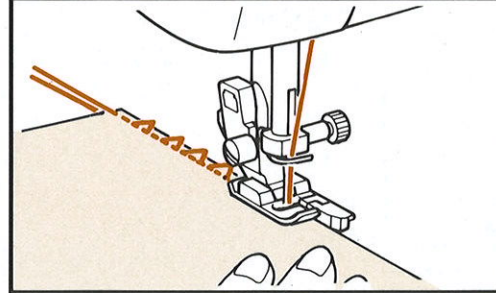
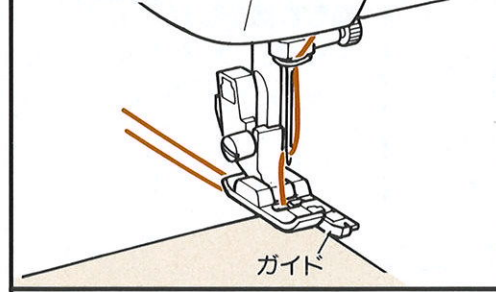
- 〈L〉押えに付け替え、模様番号〈7〉を指定します。
- のびる布地の場合は、〈L〉押えに付け替え、模様番号〈11〉を指定します。



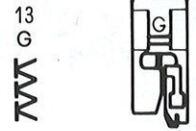
- 1 布地を折ります。
- 2 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットします。
- 3 折り山にガイドを合わせます。
- 4 ぬい始めたら、折り山がガイドに合うように手を添えます。
- 5 表に戻します。



裁ち目かがり押えの使い方



- 〈G〉押えに付け替え、模様番号〈13〉を指定します。

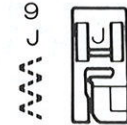


- 1 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。
 - 2 ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。
 - 裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。
- ※模様番号〈4〉のときは、裁ち目かがり押えを使わないでください。

■のびる布地の場合は

必ず〈J〉押えに付け替えてください。

- 9 布地は、針が布端より少し外側におちるようにセットします。



ジグザグ押えを使った飾りぬい シェルタック

上糸調子ダイヤル

強くする



- 〈J〉押えに付け替え、模様番号〈8〉を指定します。



上糸調子を強くしてぬいます。

(注) シェルタックは、薄地(ジョーゼット等)に使用します。

ジグザグ押えを使った飾りぬい スカラップステッチ フェザーステッチ

スカラップステッチ

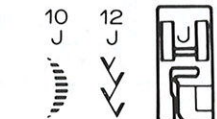


ぬい終わったら、ぬい目に沿って切ります。

フェザーステッチ



- 〈J〉押えに付け替え、模様番号(スカラップステッチ:10、フェザーステッチ:12)を指定します。



ボタン穴かがり押えの使い方 ●必ず試しぬいをしてください。

■たてのボタン穴かがり

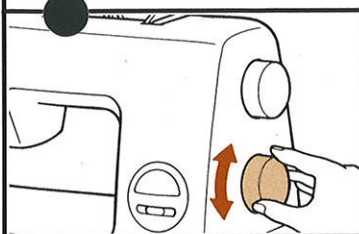
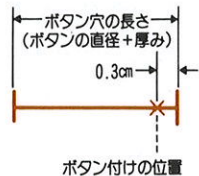
シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。



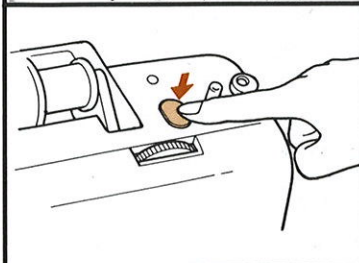
■横のボタン穴かがり

丈夫なので、ほとんどの服に使われます。

ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。



1 模様選択ダイヤルで<1>を指定します。



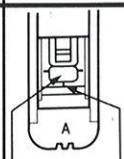
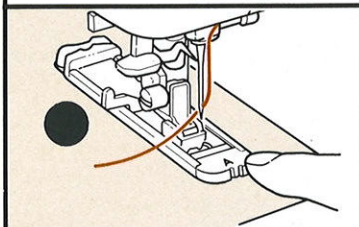
ボタン穴かがり幅切換ボタン



ロックするまでしっかりと押し込みます。

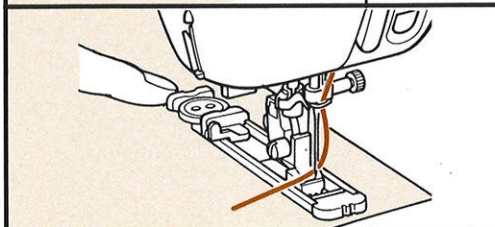
●ボタン穴かがりのぬい幅を小幅(狭い幅)にしたい場合は、ボタン穴かがり幅切換ボタンを下まで押し込みます。

※小幅(狭い幅)のときに模様選択ダイヤルで<1>以外を指定すると、大幅(広い幅)に切り換わります。

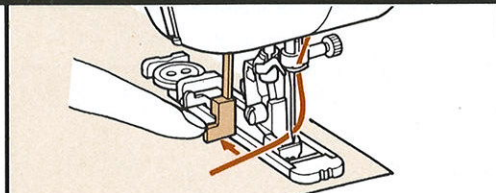


2 ボタン穴かがり押えをセットし、布地を入れ、布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えを下げます。

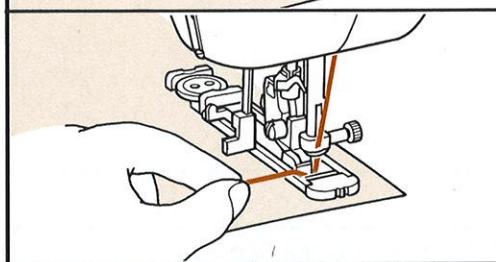
布地のしるし
押えのしるし



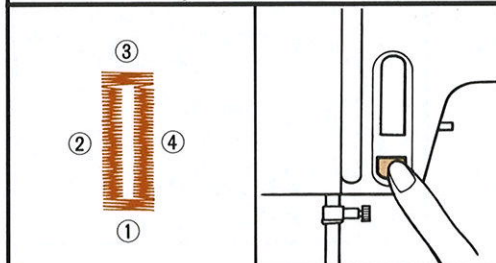
3 台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。



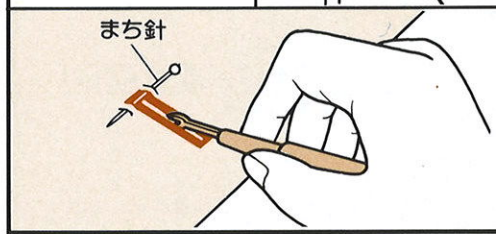
4 ボタン穴かがり用切換レバーを下げ、かるく押します。



5 上糸を持ってぬいます。
※手は布地にかるくそえてください。



6 ①②③④の順序で自動的にぬえますので④をぬい終わったらスタート/ストップスイッチを押してストップさせます。



7 糸端を裏で結び、リッパーで切り開きます。

ボタン穴かがり押えの使い方

ボタン穴かがりを失敗したとき 失敗した場所により操作がちがいます。

その1

1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. ボタン穴かがり用切換レバーを手前にかるく引きます。
3. 10針ほど空運転させます。
4. ボタン穴かがり用切換レバーをうしろへかるく押し、始めからぬいます。

その2

1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. ボタン穴かがり用切換レバーをうしろへかるく押し、始めからぬいます。

左右のぬい目をそろえたい場合

- 1 ぬい目の長さ調節ダイヤルをFに合わせ、模様(1)をぬいます。



ぬい目の長さ調節ダイヤル

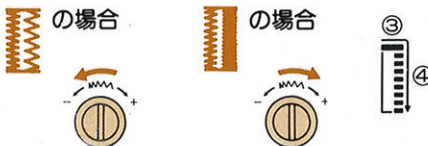


- 2 ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



左側のぬい目は、
ぬい目の長さ調節ダイヤル
で調節します。

- 3 左側のぬい目と比べ、ボタン穴かがり微調節ねじを回して調節します。

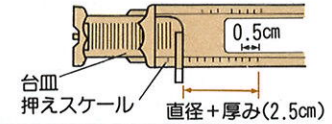
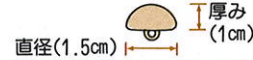


右側のぬい目は、
ボタン穴かがり
微調節ねじ
で調節します。

ボタンが台皿にのらない場合

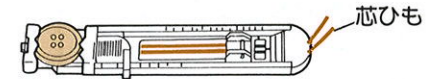
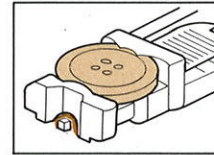
押えスケールの目盛にボタンの直径+厚みの寸法をセットします。

(例) 直径1.5cm、厚み1cmのボタンの場合、
スケールを2.5cmにセットします。



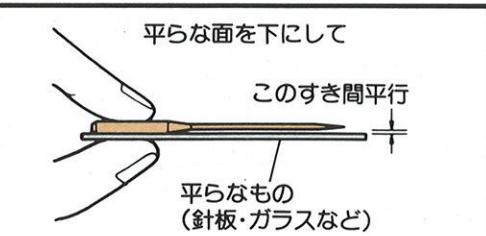
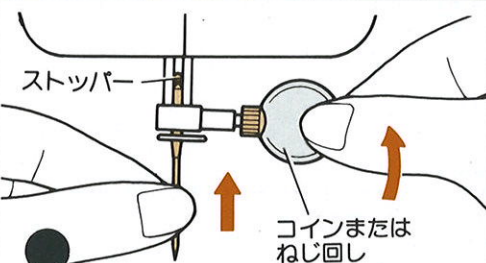
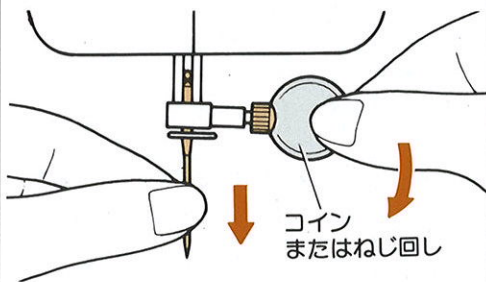
のびる布地の場合

のびる布地にボタン穴かがりをするときには、
ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。



ミシンを大切に

針の交換



1 電源スイッチを切り、針を上げ、押えを下げます。

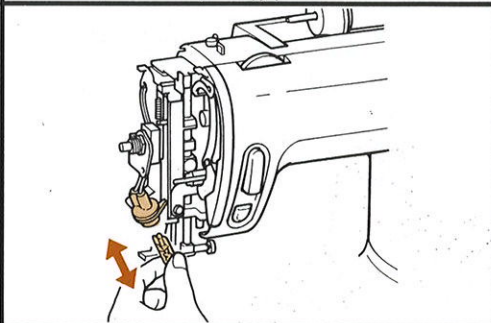
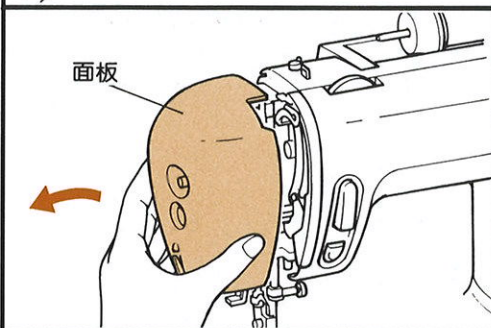
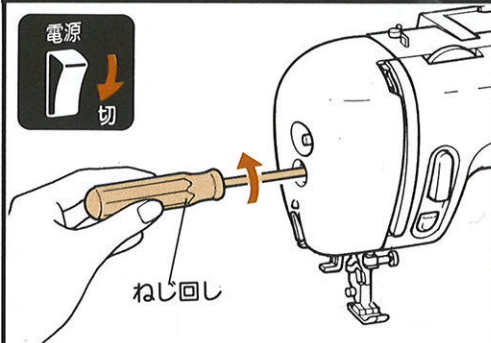
2 ねじをゆるめて針を抜きます。

3 針の平らな面をうしろにしてストップバーに当たるまで差し込み、ねじを締めます。

正しい針の調べ方

ランプの交換

※ランプ(8V、2.4W)は最寄りの販売店でお買い求めください。



1 電源スイッチを切ります。

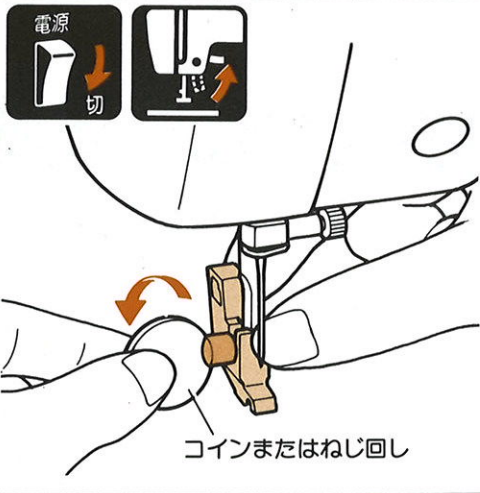
2 ねじをはずします。

3 面板を取りはずします。

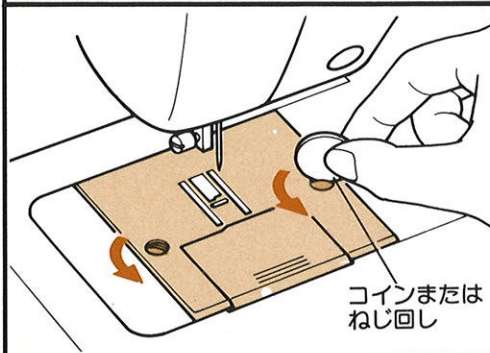
4 ランプソケットを引き抜き、新しいランプを取り付けます。

5 面板を取り付け、ねじを締めます。

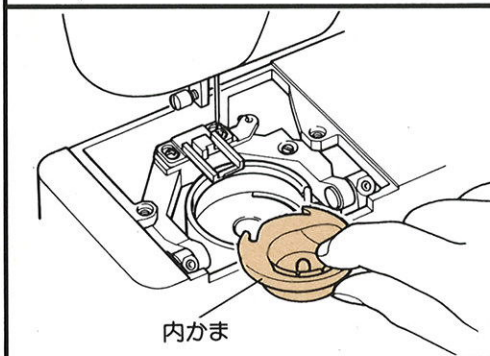
■お手入れ



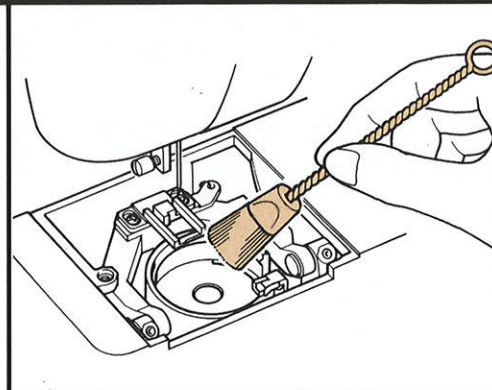
- 1 電源スイッチを切ります。
- 2 押えホルダーをはずします。



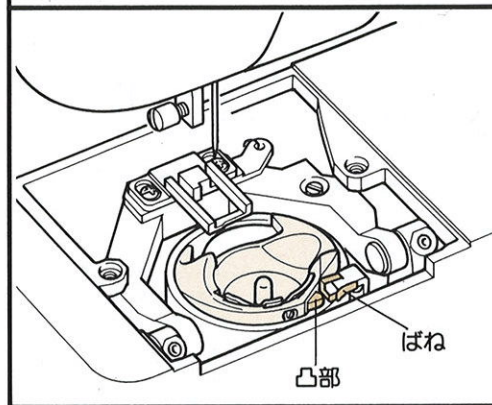
- 3 針板をはずします。



- 4 内かまを取り出します。



- 5 ほこりや糸くずを取り除きます。
 - 内かまは、やわらかい布でふきます。
 - 取りにくい糸くずは、ピンセットや掃除機で取り除きます。
 ※内かまには油をささないでください。



- 6 内かま・針板の順に取り付けます。
 - 内かまの凸部とばねとを合わせてセットしてください。

■いつもきれいに

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

■ミシンの大敵

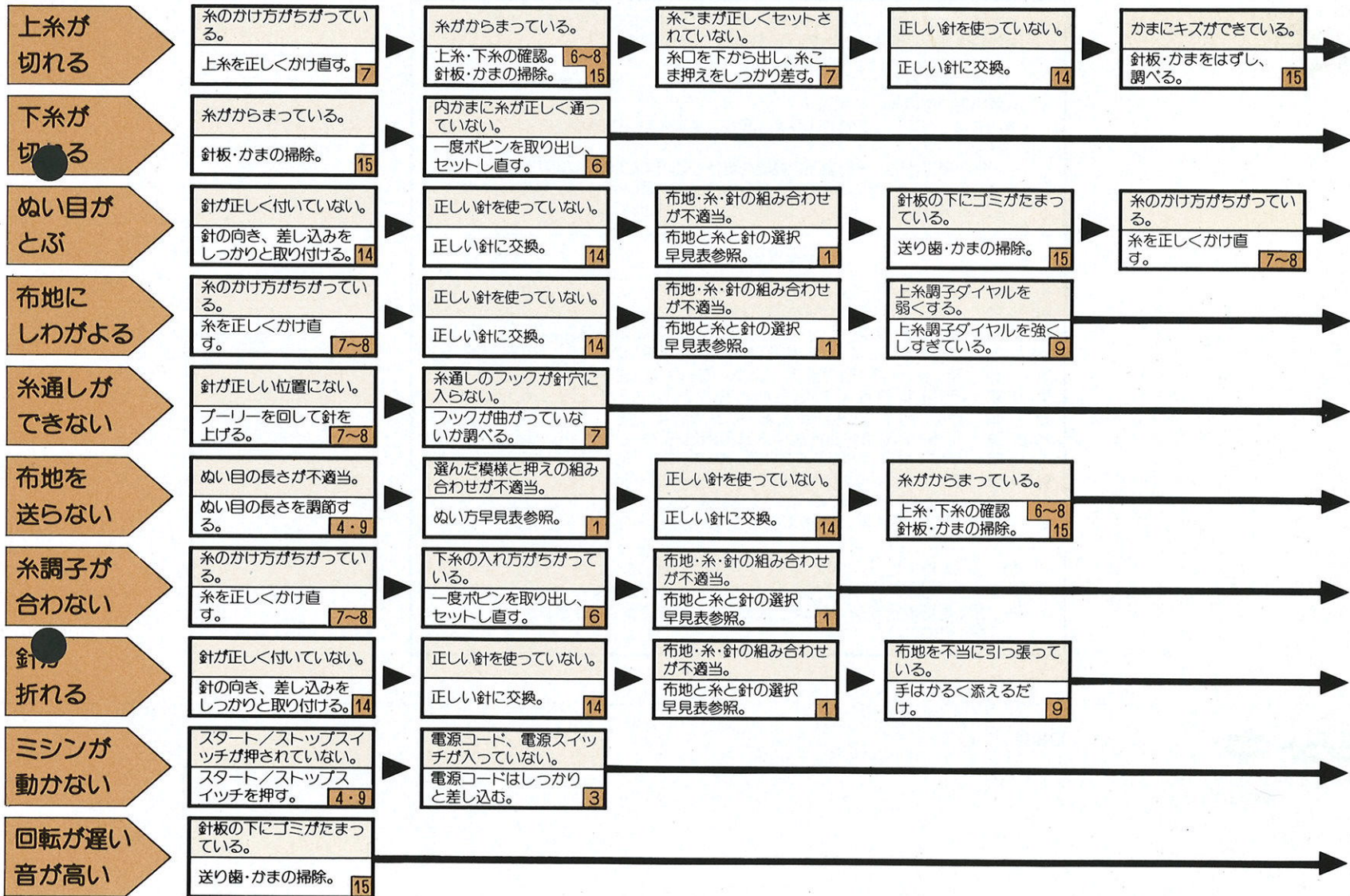
ストーブやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。



■トラブルチェック

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。

※右下の数字はページ数です。



●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの販売店にお申し付けください。

■アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのジューキ販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

札幌	〒001 札幌市北区北22条西5-18-246	TEL:(011)737-6821
仙台	〒983 宮城県仙台市宮城野区萩野町1-12-4	TEL:(022)239-3601
郡山	〒963 福島県郡山市富田町字稲川原25	TEL:(0249)25-4100
新潟	〒959-16 新潟県五泉市三本木3-3-47	TEL:(0250)43-4451
足利	〒326 栃木県足利市大町6-4-2	TEL:(0284)41-5567
東京	〒101 東京都千代田区西神田2-4-1	TEL:(03)3265-8741
静岡	〒422 静岡県静岡市緑が丘町1-15	TEL:(054)282-2951
名古屋	〒460 愛知県名古屋市中区丸の内3-7-9	TEL:(052)962-7631
大阪	〒543 大阪府大阪市天王寺区上本町5-3-5	TEL:(06)768-3651
大倉敷	〒711 岡山県倉敷市児島下之町2-1593-15	TEL:(0864)73-0355
広島	〒730 広島県広島市中区橋本町6-11	TEL:(082)227-5781
福岡	〒830 福岡県久留米市御井旗崎1-6-15	TEL:(0942)44-7921

◎ジューキ製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 **ジューキ**

取扱店

本社：〒104 東京都中央区八重洲2-7-2
(八重洲三井ビル)

TEL:(03)3272-2851~7